

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	新潟県魚沼地域振興局農業振興部（魚沼農業普及指導センター）			代表者名	小林 泰
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	普及課担い手経営グループ	連絡先電話番号	025-792-7132
担当者役職	専門普及指導員	担当者氏名	山本和広	連絡先E-mail	
住所	946-0004 新潟県魚沼市大塚新田91-4				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	協同農業普及事業		
概要	「普及活動におけるAI技術活用研修」 報告資料や指導資料の作成など、日頃パソコンにより行っている業務について、AI技術の活用方法を研修し業務の効率化を図る。				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） AI活用 生成AI活用				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無	550			
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年7月28日	講演(オンライン)	10時00分	11時45分	
			活動時間（分）	105	
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	福田 浩一
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	こちらから要望した、当県のシステム環境で利用可能な生成AI技術について、事前に何回も調査下さり具体的な利用方法を説明いただきました。 当初、個人のスマホではこのようなことまでできる。といった講演内容にしたいとのことでしたが、私物ではなく当県のシステム環境で、何ができるのかをご教示願いたい。との要望に、事例演習を準備くださり、参加者が個々に操作し、学ぶことができました。 生成AIの活用について、どこまでできるのか、何に注意が必要かを短時間にわかりやすく指導頂きました。
アドバイザーへの要望事項	県のシステム環境では、速度、処理能力の制限も多かったため、今回の時間設定では短いと思いました。 また、私どもの業務では公開前の内容を検討する会議も多く、生成AIに復命書を作成させるには注意が必要になります。何ができるか指導を依頼しましたが、逆にこのようなことをしてはいけないなどの注意喚起の説明時間もしっかり確保すべきだった。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	24人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	24			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	私ども農業指導を業務とする普及員が、業務の効率化や専門性を発揮する上でどのような生成AI技術の活用で可能であるか、わからないので手を出さずにいた職員がほとんどでした。 生成AIで何ができるか、当県の情報システムではどこまで活用できるのか、利活用を積極的に進める指導もなく、わからず、利用されずにいました。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	生成AIの提案によって改善され作成した指導資料や会議復命、研修会要領などの事例数。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	ChatGPTおよびCopilotの活用とプロンプトの作成	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	資料作成の時間短縮 研修会の開催内容について新たな項目の提案 利活用方法を他の職員にも教え合うことによる組織全体への波及	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 今回の研修を受けて取り組み始めます。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	生成AIへの入力にふさわしくない個人情報や機密性情報についての認識を徹底させる必要がある	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 (アンケートの全体集計ができていません) 研修の理解度 よく理解できた40% 理解できた50% 研修の満足度 満足 40% やや満足40%	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい 具体的な取組結果について検証する研修を年末に計画	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
4-4. 事業の最終的な目指す姿	情報の特性を認識した上で、各職員が効率的に生成AI技術を活用し資料を作成できるようになる。事務作業の効率化が図られ現地活動の時間が増加する。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における**地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」**を数枚程度貼り付けて下さい。

